

9年で全国9カ所に拡大！広がる新しいまちづくり組織
「第3回アーバンデザインセンター会議 in 柏の葉」を3月7日に開催
～ 全国のUDCシリーズが集結し、最先端のまちづくり事例を紹介・議論 ～

千葉県柏市・柏の葉キャンパス地域を拠点としたまちづくり組織「柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)」を事務局とするアーバンデザインセンターネットワークは、2015年3月7日(土)、「第3回アーバンデザインセンター会議 in 柏の葉」を開催します。

アーバンデザインセンター (UDC) とは、地域課題の解決に向け、まちに関わるさまざまな団体が連携してビジョンを描き、プロジェクトを推進する、新たなまちづくり組織です。従来のまちづくりでは、テーマごとの市民参加や、開発事業等での公民連携はあっても、あくまで行政が中心に立ち、多主体連携は部分的・断片的であることがほとんどでした。UDC では、地域をフィールドに多主体が柔軟に連携し、統合的なまちづくりを行うことを目的としています。UDCK は日本初のUDCとして2006年10月に設立し、構成団体である柏市、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、三井不動産、首都圏新都市鉄道、東京大学、千葉大学を中心に柏の葉キャンパス地域のまちづくりを推進してきました。

また、UDC の理念を社会に広めるため、他地域でのUDC 設立支援とネットワーク化にも取り組んでいて、2009年には国内外の先進事例を集めた「第1回アーバンデザインセンター会議」を開催しました。UDCK が5周年を迎えた2011年には、UDC としての基本的な考え方を8カ条でまとめた「UDC AGENDA 2011」と、それを基にした「アーバンデザインセンターネットワーク要綱」を制定しました。日本におけるUDC のあり方を明確にしつつ、各UDC の交流・協働を活発にしています。

「第3回アーバンデザインセンター会議 in 柏の葉」は、2015年3月までに設立された全国9カ所のUDC のネットワーク組織「アーバンデザインセンターネットワーク」が主催します。各センターが実践中の最新まちづくり事例を紹介し、また新たなまちづくり組織であるUDC が果たすべき役割やその本質、意義などを議論するパネルディスカッションを開催します。本イベントは、UDC 関係者のみならず、地域住民やまちづくりに関心のあるすべての人へ向けて実施します。

* 「アーバンデザインセンター」は、一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンターの登録商標です

全国のアーバンデザインセンター 一覧

名称	対象地域	設立
柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)	千葉県柏市柏の葉キャンパス地域	2006年11月
アーバンデザイン会議九大 (UDCQ)	糸島半島 (福岡市西区、糸島市)	2007年3月
アーバンデザインセンター横浜 (UDCY)	神奈川県横浜市	2008年4月
田村地域デザインセンター (UDCT)	福島県田村市	2008年8月
郡山アーバンデザインセンター (UDCKo)	福島県郡山市	2008年11月
アイランドシティ・アーバンデザインセンター (UDCIC)	福岡県福岡市東区香椎照葉地区	2012年10月
アーバンデザインセンター並木 (UDCN 並木ラボ)	神奈川県横浜市金沢区並木地区	2014年4月
松山アーバンデザインセンター (UDCM)	愛媛県松山市	2014年11月
(仮称) 柏アーバンデザインセンター (UDC2)	千葉県柏市柏駅周辺地区	2015年4月予定

「第3回アーバンデザインセンター会議 in 柏の葉」実施概要

主催: アーバンデザインセンターネットワーク

事務局: 柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)

日時: 2015年3月7日(土) 13:00~16:00

場所: 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト (〒277-0871 千葉県柏市若柴178-4 柏の葉キャンパス148-4)

内容: (1) 基調講演「デザインとマネジメントのハザマのフロンティア」

出口 敦 (東京大学 教授 / 柏の葉アーバンデザインセンター センター長)

(2) 各UDCからの報告

(3) パネルディスカッション「新たなまちづくり組織としてのUDCの本質とは？」

コーディネイター 野原 卓 (横浜市立大学 准教授)

申し込み: 氏名・所属・連絡先を記載の上、entry@udck.jpまでE-Mailで申し込み

問い合わせ: entry@udck.jp

UDC AGENDA 2011 (UDCの共通活動指針)

1. 公・民・学連携の拠点となる

行政、NPO等を新しい「公」に位置づけ、地域の社会・経済活動の推進力と中心的担い手となる住民、企業等が「民」として参画し、専門家や学生を含めた創造のエンジンとなる大学等の教育研究組織が「学」として協働する、「公・民・学」の連携ネットワークを基本とする組織の拠点となり、アーバンデザインに関わる活動を推進する。

2. 明確な目標と戦略を打ち立て実行する

拠点としての活動を進めるに当たり、主体となる関係者が共同で明確な目標と戦略を策定し、活動の拠り所として共有し、その達成度を検証しながら着実に目標の実現を推進する。

3. 常に具体のフィールドで活動する

地域の発意による生き生きとした活動を大切にする。地域のフィールドの中に活動の場を持ち、フィールドの中に課題を見つけ出し、具体的な目標と目的を設定して、地域に密着した実践的な活動を進め、多くの活動を効果的に連動させる。

4. 都市空間のデザインを担う専門家が主導する

常に優れた都市空間像の実現を目指し、アーバンデザインに関わる専門家が主導的立場でリーダーシップを発揮し、市民、行政、関係者と共にプロジェクトを企画、立案、調整しながら、高質な都市空間のデザインを推進する。

5. 新しいアイデアに挑戦し続ける

大学の専門家や学生はもとより、地域の志ある人々の発想による課題解決のための斬新かつ実現可能なアイデアの実施に挑戦し、皆で夢のあるアイデアを磨いていくことを通じて、知的で洗練された地域を創り出す。

6. 一人一人が活動をエンジョイする

子どもから大人まで、また市民から実務者・行政職員まで、地域に関わるさまざまな立場の人々の交流を進め、共に学び合い、一人一人が活動を楽しみながら参画し、楽しい活動を通じてネットワークの輪を広げ、担い手を育成していく。

7. 最新の情報を広く公開し、共有する

活動の過程や成果、活動を通じて得られた最新の情報を収集し、分かりやすく整理した上で、速やかに一般に公開することで、常にオープンな組織と拠点であり続ける。

8. UDCネットワークを全国へ、そして世界へ

UDCの考え方や活動の成果を私たちの中だけに留めておくのではなく、全国へ、そして世界へと拠点の輪を広げ、UDCのネットワークを拡充していく。

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】

柏の葉アーバンデザインセンター 広報担当: 蛭川、横山 TEL: 03-4580-9104